

月曜かい

MHS(バドミントン同好会)

2026年9月21日

「日本バドミントン界の現在地」

品質管理課

赤井

MHSは2008年5月に発足したバドミントン同好会です。今年で19年目になります。

2026年現在、登録人数は 29 名

月一程度で活動しています。

これまで道具や競技の裏側をご紹介してきましたが今回は少し趣向を変えて、日本バドミントン界の「現在地」についてお話しします。

1. レジェンドの節目と、ベテランの健在

バドミントン界の象徴であり、圧倒的な強さを誇った桃田賢斗選手の日本代表引退など、一つの時代の節目をしみじみと感じるニュースがある一方で、女子シングルスでは山口茜選手らがベテランの強さと経験を発揮し、世界の第一線で戦い続けています。長くトップを守り抜く姿勢は本当に見事の一言です。

スマッシュの速度388km/hとかやばいですね



2. バトンを受け継ぎ、世界へ挑む新星たち

そしていま、バドミントン界は新たな世代が猛烈な勢いで台頭しています。

例えば、シングルスで急成長を見せる宮崎友花選手や、混合ダブルスで元メダリストの渡辺勇大選手と新ペアを結成して世界を沸かせている田口真彩選手など、若い世代が次々と新しい風を巻き起こしています。

まとめ

ベテランが意地を見せ、それを追いかける若手が新しい挑戦で勢いをつける。この新陳代謝と切磋琢磨の姿は、私たちの日々のビジネスや組織のあり方にも重なるところがあります。

我々も先輩たちの背中を見習いつつ、社内に新しい風を届けられるよう頑張ってください！